

## オーディオ実験室収載

### モーツアルト盤を聴く(123)(HP 収載) —最新アナログシステムでの試聴(123)—

#### 1. 始めに

前報(122)に引き続き、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を最新アナログシステムで試聴していきます。

#### 2. モーツアルトのアナログ盤の試聴方法

モーツアルトのアナログ盤の由来およびアナログシステムの状況は前報(1)のとおりです。今回は、LINN LP-12 を使用します。

試聴システムは仮想アースに加えて、スピーカーアキュライザーSPA-7 が加わっています。さらにスピーカーアキュライザーの接続をバナナプラグに置き換え、電解コンデンサーを追加し、電磁波吸収テープ NRF-005T をバナナプラグに巻いています。音源は、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を使用していきますが、今回は舞曲です。

エラート REL-3202

モーツアルト ドイツ舞曲集

ジャン=フランソワ・ピヤール指揮ピヤール室内管弦楽団

#### 3. モーツアルトのアナログ盤の試聴結果

エラート盤ということで、RIAA、逆相、第4時定数Midで聴いていきます。6つの舞曲集が2曲、12の舞曲集と3つの舞曲集で計27曲が収録されています。解説によれば、ウイーンなどのダンスホールで演奏されたもののようで、すべて陽気に楽しんで踊れるような曲です。

#### 4. まとめ

ターンテーブルアキュライザー、ダンパーフレイク、Crystal E、スピーカーアキュライザーなどの総合的な効果により、上記の音楽の特徴がよく把握できます。

以上/